



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

2025.9.10(No.3257)
週報 No.10

ロータリーで善の循環を

第2560地区ガバナー／室賀 信 宏
会 長／柳 取 崇 之
会長エレクト／小 林 吾 郎 (クラブ奉仕A)
副 会 長／吉 井 直 樹
幹 事／早 川 滝 徳
S A A／長谷川正実
会 計／船 越 良 則
直 前 会 長／渡 辺 良 一
会長ノミニ／明田川賢一 (クラブ奉仕B)

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095
E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
https://www.sanjorotary.site

■本日の出席会員数:56名中41名
■先々週出席率:89.09%

【ゲスト】

・新潟・市民映画館シネ・ウインド
支配人 井上経久 様

【先週のメイクアップ】

[9.4] 地区ラーニング委員会運営会議 (新潟) へ
・関川 博さん

**よいことの
ために
手を取りあおう**

2025～2026年度国際ロータリー会長メッセージ



「八甲田の頂 (投稿者:伊藤浩志様)」

会 長 挨 拶

柳取崇之 会長



皆さんこんにちは。

本日は新潟・市民映画館シネ・ウインド支配人の井上経久様よりおいで頂きました。

本日の卓話どうぞ宜しくお願い致します。

私は少年野球の指導者として30代全般から12年間子供たちの成長を見守りました。その時にいつも心に留めていた言葉がありましたのでお話いたします。それを知ったのは当時少年野球教室が開催され、指導者対象の講演会でお聞きしたことでした。

プロ野球選手の高畠導宏 (たかばたけ みちひろ) さんという方が指導者として伝えていた言葉だったそうです。高畠さんは1944年生まれ、岡山南高校から大学に進み、社会人野球の日本鉱業日立へ入社、日立製作所の補強選手として活躍、1967年ドラフトで南海ホークスに指名され翌年入団。しかし、けがから試合に出場する機会も少なく、その後、野村監督が就任し代打の切り札として活躍したものの、けがが多く選手としてはわずか4年で現役を引退。その後、打撃コーチとしてダイエーの吉永、小久保、中日時代には山崎武司、オリックスでは田口選手等多くの選手を指導されました。

コーチ引退後は高校野球の指導者になるべく、98年54歳にして教員免許を取得して福岡の筑紫台高等学校の教諭になりました。プロ経験者が高校野球の指導者になるためには2年間の教諭経験が必要のため05年の高校野球監督を目指したそうではありますが、残念ながら04年5月にすい臓がんが見つかり思いを果たせず同年7月に60歳で死去されました。

その高畠さんが伝えていた言葉、それは「**大きな耳、小さな口、優しい目**」です。選手や生徒の悩みを聞いてあげる「大きな耳」を持つこと。

上から目線で指導したり、余計な口出しをしない「小さな口」でいること。そしていつも遠くで温かく見守る「優しい目」を持つこと。

当時の私はこの言葉に感動し、それからというものいつもこの言葉を心に思い子供たちを指導しておりました。

これは、皆さんが部下や後輩を指導するときだけでなく社会生活全般にも当てはまる言葉ではないでしょうか？

ぜひ皆さんも「**大きな耳、小さな口、優しい目**」を心がけてみては如何でしょうか？

以上、挨拶を終わります。

幹事報告

早川滝徳 幹事



◎十日町RCより

「第4回 十日町RC杯

ユニバーサルスポーツフェスタのご案内」

日 時 9月21日(日) 9時より

会 場 十日町市総合体育館

内 容 車いすバスケットボール体験会、
車いすバスケットボール大会 他

◎地区米山記念奨学委員会より

「米山記念奨学委員長セミナーのご案内」

日 時 10月4日(土) セミナー 14:00~16:30
懇親会 16:45~18:00

会 場 ホテルイタリア軒

◎次週17日(水)は、祝日の週につき休会です。

お間違えのないようお願いいたします。

ニコニコBOX

柳取崇之 会長

井上経久様、本日は卓話よろしくお願いいたします。

菊池 渉さん

今言って、今ですが、本日3時~5時半、東別院で「パレスチナ学習会」が開かれます。興味のおありの方は是非おいでください。

渡辺良一さん

やっとゴルフのシーズンがやって来ました。

井上経久様、映画のお話し楽しみにしていました！

嘉瀬一洋さん

大阪・関西万博に行ってきた。大屋根リングは世界最大の木造建築だそうで、圧巻でした。

井上支配人、卓話よろしくお願いいたします。

落合孝夫さん

今日の新潟日報の「日報抄」にシネ・ウインドさんの記事が載っていました。「春、阿賀の岸辺にて」を見たいと思います。卓話楽しみです。よろしくお願いします。

伊藤浩志さん

本日の井上様の卓話を楽しみにしております。黒澤明研究会所属35年、先ほど私たちの作った書籍を贈呈させて頂きました。よろしくお願いいたします。

西山徳芳さん

家の周りの田圃はコンバインでにぎやかです。豊作でうまい米が食べられて喜んでいます。

吉井直樹さん

黄金の稲穂が実って秋本番ですね。新米が楽しみです。本日、井上様よろしくお願いいたします。

中林順一さん

なかなか残暑になりませんね。

小林吾郎さん、 荻根澤隆雄さん、 山田富義さん、
長谷川正実さん、 小越憲泰さん、 松永一義さん、
岩橋美穂さん、 松永隆夫さん、 早川滝徳さん、
外山浩玲さん、 石倉政雄さん、 成田秀雄さん、
高橋俊樹さん、 船越良則さん、 丸山行彦さん、
杉山幸英さん、 高橋 司さん、 渡部 宏さん、
石橋育於さん、 安達俊明さん、 明田川賢一さん、
小出子恵出さん、 相場弘介さん、 白倉徳幸さん

シネ・ウインド支配人 井上経久様を心より歓迎いたします。

本日は卓話よろしくお願いいたします。

9月10日分 ￥34,000
今年度累計 ￥430,000



「卓話」開館40周年 市民映画館の軌跡と これから

新潟・市民映画館シネ・ウインド
支配人 井上経久 様

はじめまして。ただいまご紹介
いただきました新潟市万代にあります映画館シネ・ウ
インド井上です。このたびは貴重な機会をいただき
ましてありがとうございました。

今年は映画誕生から130年、また私たちの映画館は
この12月で開館40周年となります。この期間、経営的
には「いつも安定して厳しい」状況でした。それでも
会員や新潟県内の法人の皆様から応援をいただきな
がら途中で閉館することなく継続してきました。

私たちのように小規模で、大手資本の支援を受けず
に40年続いている映画館は、東京、名古屋、山形に各一
館ずつ、そして新潟のシネ・ウインドだけです。その
誕生の経緯や映画館運営で意識していることをお話さ
せていただき、普段各界でご活躍の皆様の活動に少し
でも刺激になればと思っています。

新潟市や下越中越の方からの支持が多く、新潟県内
はじめ、首都圏や西日本や北海道東北、東南アジア在住
者からも「学生時代を新潟で過ごした」「かつて転勤で
新潟在住だった」「旅行で新潟を訪れ好印象だった」方
などからも映画ファンのみならず新潟県に愛着のある
方からのご支援が多かったのが印象に残りました。そ
して募金総額1176万円 のべ823名様からご支援いた
だきプロジェクター購入のための募金が達成され、11月
半ばには新しい機材での上映が決まりました。

皆さまから頂いた気持ちを大切に受け止めて、新潟
県民から愛される映画館になる事が出来るよう努め
てまいります。

シネ・ウインド誕生のきっかけは、1985年3月1日 名
画座ライフ (古町7番町) 閉館から始まります。当時印
刷会社の営業マンだった齋藤正行 (現代表) が退職
し、市民映画館を作る会を立ち上げます。家族の反対
もありました。

当時はビデオレンタル普及途上の時期、行く先を心
配されたが、家で映画を見る場合は、内容や出演者が
あらかじめわかっていることが多いです。映画館に
わざわざ行って暗やみの中で誰か分からない人たち
と一緒に場所で大きなスクリーンで映画を見るのは
貴重な体験である。

この時に集まった人たちは映画ファンだけでなく、音
楽ファン、演劇ファン、美術や文学が好きな方など「地域
で発表の場や仲間と集まれる場所」を探していた人たちが
多かったようです。映画以外の文化ジャンルとも交



開館40年 市民映画館の軌跡とこれから

新潟・市民映画館シネ・ウインド
支配人 井上経久

シネ・ウインドKEEPプロジェクト 8/31(日)まで実施しました

- ・ 新規上映設備購入募金
一口5000円 目標1000万円 8/31(日)まで
- ・ 新規入会キャンペーン 通常5500円→4400円
- ・ 会員限定11回券 10,450円を一般販売

募金総額11,760,000円 のべ823様からご支援

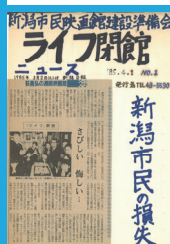
目標達成！ 11月中旬上映機器リニューアル！

新潟・市民映画館シネ・ウインド



- ・ 新潟市中央区八千代2-1-1 万代シテイ第二駐車場ビル1階
- ・ 1985年12月7日開館 座席数64 (開館時89席、1990年改装時84席)
- ・ デジタルプロジェクター&ドルビー7.1、フィルム映写機

シネ・ウインド誕生前夜



- ・ ここが立派な映画を打ちつづけているかぎり、映画が市民の文化であることを止めはしない。まだ本当に映画を愛する興行人はおり、それを支える市民も健在なのだ」と信ずることができた。
- ・ 新潟市民の損失は、はかり知れない。

1985年3月2日(土)新潟日報

「萩島弘の週間映画館」より

流のチャンスがある映画館になったと思います。

私は県外出身で、1991年に新卒の赴任先として偶然、新潟に来県しました。場所は北蒲原郡安田町、現在の阿賀野市安田地区です。私にとってはちょうどそのタイミングで完成した、阿賀野市と阿賀町近郊で主に撮影されたドキュメンタリー映画「阿賀に生きる」との出会いが大きく、現在の業務についたことにもかなり影響があります。この「阿賀に生きる」、9月6日から上映予定なので是非ご覧ください。新潟ならではのイベントも検討中です。

更にシネ・ウインドをはじめ新潟市内にあった映画館にほぼ休みごとに映画を見に行くようになります。当時は会社の知人しか知り合いがいなかったので暇で暇で、それで映画を見るようになりました。それまでは年に何回かアクション映画を見るような普通の映画好きでした。そして外国旅行を経て、今の仕事に就いてからあらためて映画、そしてシネ・ウインドについて学び、その奥深さやパワーを少しでも伝えられたらと思います。

新潟・市民映画館鑑賞会はシネ・ウインド会員による市民団体で、会員数は約1600人（6割が新潟市民）おります。上映作品は東京で1～2か所で上映している、あまりテレビや雑誌では取り上げられない映画が多いです。「国宝」は上映していません。でも「国宝」の監督、リ・サンイルさんのデビュー作はシネ・ウインドで監督舞台あいさつ付きで上映。これまでも「フラガール」のような話題作の時に、リ監督初期作の特集なども実施。最新ヒット作を通して、その出演者や監督の歴史に注目して特集を組むこともあります。

スタッフは常時約30名。主婦、会社員、公務員、自営業者、年金生活者、学生、映像作家、政治家、宗教家、不登校生徒など、様々な方がおります。

近年、彼らの発案による自主上映企画、イベントが急増中です。（『老ナルキソス』、『遠いところ』、特撮上映会、ピアノライブなど、女性の活動が多め）

会員組織である「新潟・市民映画館鑑賞会」が映画館としての理想を模索し、経営を考慮した判断は「有限会社」が考え、双方の考えが必要十分な部分が、映画館シネ・ウインドの上映作品や企画として運営されています。

会員になって、上映企画スタッフに加わって、専従社員とともに宣伝して上映をする。そうすると単に見ただけだった映画が誰かに見てもらうためのメディアに変化します。

日本の映画公開本数は年間約1200作品。世界最多級の本数で世界一映画上映本数が多い街は東京。21世紀初頭にパリとニューヨークを抜きました。新潟県内公開本数は500本くらいで、全国で10番目前後です。でもネットで情報は世界一斉に時間差なしに届

シネ・ウインド誕生前夜

- ・1985年3月1日 名画座ライフ 閉館
- ・新潟・市民映画館建設準備会 発足
- ・場所は万代シテイに決定
- ・有限会社 新潟市民映画館 設立
- ・月刊ウインド創刊号発行
- ・劇場名「シネ・ウインド」に決定
- ・1985年12月7日 シネ・ウインド オープン

名画座ライフ閉館から、約9か月で新劇場の開館へ

新潟・市民映画館の特徴

- ・名画座ライフ閉館から9か月でOPEN
→企画、検討、実行まで、一気呵成に
- ・市民に映画館誕生を呼びかけ、全額を会費を元に完成
- ・出資した会員が運営に参画
- ・会員による自主メディアの発信
→新潟市にある市民参加が可能な民営劇場

・井上経久（いのうえ つねひさ）

1968年2月 東京都八王子市出身、大学卒業まで自宅暮らし

1991年4月 新卒赴任地として北蒲原郡安田町（現・阿賀野市）に転居

1991年9月 シネ・ウインドと出会う

1998年9月 勤務先を辞職

1999年2月 アジア・ヨーロッパ旅行出発。21か月個人旅行

2000年11月 帰国

2000年12月1日からシネ・ウインド専従社員となる

2009年12月1日 劇場支配人に

新潟・市民映画館シネ・ウインドの組織

新潟・市民映画館鑑賞会
シネ・ウインド会員による市民団体
会員数は約1600人（6割が新潟市民）

- ・特典：入場料割引/会報購読/運営参加
- ・上映作品選定やイベントの企画
- ・会報「月刊ウインド」編集・発行
- ・SNSや紙媒体、放送など広報活動
- ・映画資料や新潟関連書籍の整理
- ・運営補助（電話対応、清掃、など）

★映画を通して市民活動の理想を追求

有限会社 新潟市民映画館
映画館の社会的責任を取る法人

- ・経理業務・会員管理・劇場賃貸契約
- ・上映作品の交渉・精算
- ・会報「月刊ウインド」製作・販売
- ・鑑賞会広報活動のサポート
- ・新潟市商店連合会 会員
- ・新潟県興行組合 理事
- ・専従3名 全員が鑑賞会会員

★事業継続のために経営基盤の充実に

理想と現実を考えた
新しい映画館の形を提示



く時代。「やってほしい」という声はいつでもある。
全部はできない。

- 1) 人は入るか 2) 見た人の心に響く映画か
3) 現在の新潟県民に届けるべき映画か
を意識してセレクト

40年間の劇場運営はヒントの宝庫。かつて失敗
だったことも、いま提示の仕方や伝え方の工夫で活き
てくるものも多い。逆に今は難しいことでも将来へ
の布石になりえる。人の好き嫌いではなく、腑に落ち
ない意見でも何か得られるか、納得できない意見でも
伝え方の参考になるか

新潟・市民映画館の支配人として、新潟について、映
画について、シネ・ウインドについて、もっともっと学
びつづける姿勢でいたい。

映画館運営の課題

- 1) 東京一極集中により、売上の4割が東京に偏っています→
地域の皆様に活動を伝える方法の工夫。
2) 日本には韓国映画振興委員会的組織が無い→同業や制作
関係者との議論、そして新潟独自の劇場振興法を検討。

東京ではできないことでもシネ・ウインドならでき
ることがもっとあるはず。「はる、阿賀の岸边にて」は
世界でシネ・ウインドのみで上映されています。

毎日の舞台あいさつも欠かせません。東京の恵比
寿映像祭で特別賞、この映画を見に東京や仙台や滋賀
県や三重県から初日に来館されています。

私たちのモットーはココからできることをこれ
からもこれまでの蓄積を知り、今後は他分野の方から
も学び、新潟に暮らす人たちのための映画館としてや
るべきことを今後も提案していきたいと思います。

会員スタッフによる運営の課題・対策

- 各種運営議論の決定が遅れる時間的ロス

→ LINEやオンラインミーティング導入、決定後の迅速な対処を意図

- 月刊会報への情報掲載によるレスポンス遅れ

→ 製作作業の内製化（経費削減にも）、劇場サイトやSNSでのフォロー

- ボランティア同士の意見衝突や対立

→ 運営機関をまたいだ交流の促進、緩衝役として専従社員の仲介、劇場方針の確認作業

新潟・市民映画館の役割

- 多彩な映画を、思いを持つ市民の手で、市民に届ける

- これまでの軌跡を常に学び、未来に反映させていく

- 異なる意見や考えを認め合い、新潟県を成熟した場所へ

新潟・市民映画館シネ・ウインド



ココからできることを、
これからも



Webサイト <https://www.cinewind.com/>（上記QRコードよりご覧いただけます）

いのうえ つねひさ 本日の講師 井上経久様 のプロフィール

1968年 東京都八王子市出身。

1992年に前職の赴任先として新潟で暮らし始める。退職後、1998年冬から約2年海外放浪旅行。帰国途中の2000年11月に新潟・市民映画館シネ・ウインド代表の齋藤正行と出会い、12月より同館に就職。2009年より劇場支配人となり現在に至る。

新潟・市民映画館シネ・ウインド について

1985年に開館した全国でも貴重な市民運営による映画館。年会費納入による会員制度があり、会員によって上映作品選定、会報編集制作および発行、資料管理など劇場経営のための運営スタッフとして関わる事ができる。会員は約1700人。運営スタッフは学生、会社員、主婦、退職教員など約30人。今年12月7日には開館40周年を迎える。



ロータリー米山記念奨学会より
小越憲泰 会員へ
第28回 米山功労者
メジャードナー感謝状の授与



10月の行事予定



三条ロータリークラブ例会日

日	月	火	水	木	金	土
			1 ◆三条RC 「IM報告」 柳取崇之 会長	2 ◆三条東RC 「地区大会記念 ゴルフ大会報告 ・IM報告」	3	4 米山委員長 セミナー (新潟)
5	6 ◆三条南RC 「室賀ガバナー 公式訪問」 (記帳できます)	7 ◆三条北RC 「IM報告」 羽賀一真 会長	8 ◆三条RC 8日(水)～9日(木) 「親睦旅行」	9 ◆三条東RC 「外部卓話」 地区米山記念奨学 委員会 副委員長 織戸 潔 様(新潟RC)	10	11
12	13スポーツの日 ◆三条南RC 休会	14 ◆三条北RC 「米山月間」 米山記念奨学生 アンドレアさん	15 ◆三条RC 「米山月間」 高橋俊樹 米山記念奨学委員長	16 ◆三条東RC 「夜例会」 (記帳できます)	17	18
19	20 ◆三条南RC 「第一例会」	21 ◆三条北RC 21日(火)→26日(日) 「地区大会」出席振替 (記帳できます)	22 ◆三条RC 「外部卓話」 三条市国際交流員 ライアン・サム様	23 ◆三条東RC 社会奉仕事業 「ミニ運動会」 於 グッデイいきいき サポートセンター (記帳できます)	24	25 地区大会 1日目 (新潟)
26 地区大会 2日目 (新潟)	27 ◆三条南RC 27日(月)→26日(日) 「地区大会」出席振替 (記帳できます)	28 ◆三条北RC 「地区大会報告」 羽賀一真 会長	29 ◆三条RC 「地区大会報告」 柳取崇之 会長	30 ◆三条東RC 休会 (記帳できます)	31	

※ 近隣RC例会変更のお知らせ! (記帳できます)

- 分水RC 10月 14日(火) 移動例会
- 加茂RC 16日(木) 休会
- 加茂RC 23日(木) 公式訪問
- 加茂RC 30日(木) 夜例会

記帳場所

新潟大栄信用組合本店1F(11～14時)
加茂市産業センター
加茂市産業センター
加茂市産業センター

次週例会 10月1日 「IM報告」 柳取崇之 会長

次々週例会 10月8日 10/8(水)～9(木)「親睦旅行」



皆様の写真で
本週報の表紙を
飾って
みませんか?

今期の三条ロータリークラブ週報では、皆様より表紙の写真を募集いたします。
日常の風景から旅先のスナップ・渾身のワンカットなど、会員様の素敵な写真をご提供ください。
画像タイトル(キャプション)を入れてメールでお送りください。
宛先は渋谷会員宛「m-shibuya@san-in.biz」までお願いいたします。
※投稿者名を非掲載希望の方は、メール送信時にその旨ご記載ください。
※応募者多数の場合は掲載されない場合もございます。ご容赦願います。